



2013年3月期 第2四半期 決算説明会



新型 マツダ アテンザ

マツダ株式会社
2012年10月31日

本日の説明内容

- 総括
- 2013年3月期 第2四半期累計実績
- 2013年3月期 見通し
- 下期の販売取り組み
- 構造改革プラン アップデート
- まとめ
- 最後に

zoom-zoom



総括

総括 (1) - 第2四半期累計実績

- ▶ 売上高は10,235億円、営業利益は115億円、当期純利益は57億円
- ▶ 期初見通しを上回り、全ての利益レベルで黒字を達成
- ▶ 新型CX-5は、営業黒字達成に大きく貢献
- ▶ グローバル販売台数は、前年同レベルの61万3千台
- ▶ 新型CX-5は、グローバルで販売を牽引
- ▶ SKYACTIV搭載車両は、グローバルで高い評価
- ▶ オーストラリア、ASEANで販売好調を継続

総括 (2) - 通期見通し

- ▶ **新型CX-5の拡販**
- ▶ **フルSKYACTIV第二弾 新型Mazda6/アテンザの導入**
- ▶ **新型CX-9の導入**
- ▶ **グローバル販売台数は、125万5千台の見通し**
- ▶ **通期利益見通しは、中国での台数減を織り込み、
営業利益は250億円へ修正**
- ▶ **経常利益150億円、当期純利益100億円は、
期初見通しを据え置き**
- ▶ **構造改革プランの進捗は計画通り**



2013年3月期 第2四半期累計実績

2013年3月期 財務指標

(億円)	2013年3月期			第2四半期累計 増/(減)	
	第1四半期	第2四半期	累計	対前年	対4月公表
売上高	5,066	5,169	10,235	643	(165)
営業利益	18	97	115	331	15
経常利益	(89)	93	4	310	24
税引前利益	(97)	170	73	440	53
当期純利益	(65)	122	57	456	7
売上高営業利益率	0.4 %	1.9 %	1.1 %	3.4 pts	0.1 pts

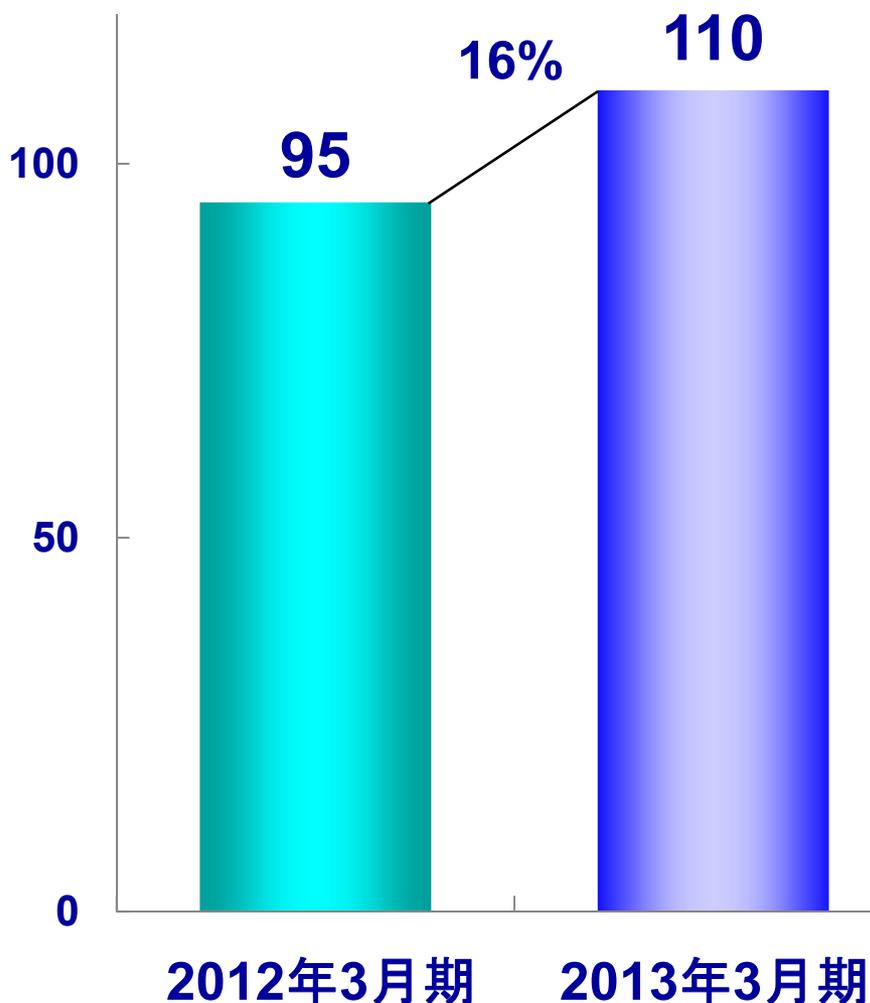
主要データ

	2013年3月期			第2四半期累計 増/(減)	
	第1四半期	第2四半期	累計	対前年	対4月公表
グローバル販売台数 (千台)					
日本	51	59	110	15	(7)
北米	90	92	182	0	(11)
内 米国	62	65	127	0	(9)
欧州	44	41	85	(6)	(10)
中国	46	44	90	(17)	(32)
その他市場	69	77	146	17	3
合計	300	313	613	9	(57)
為替レート					
US\$ / 円	80	79	79	(1)	(1)
€ / 円	103	98	101	(13)	(4)

日本

第2四半期累計 販売台数

(千台)



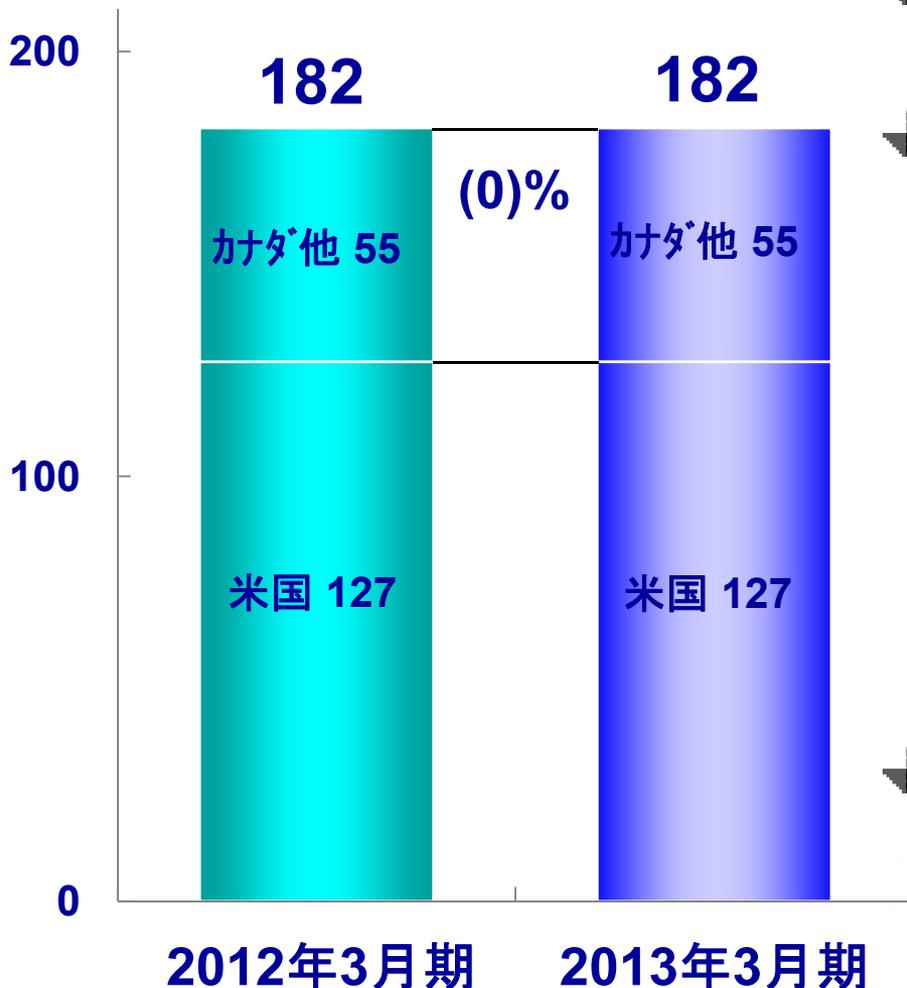
- ➡ 販売台数は、対前年16%増の11万台
- ➡ 販売好調の新型CX-5が牽引
- ➡ ディーゼルエンジン搭載車は引き続き高い評価

zoom-zoom

北米

第2四半期累計 販売台数

(千台)



➡ ほぼ前年並みの18万2千台

➡ 米国: 12万7千台

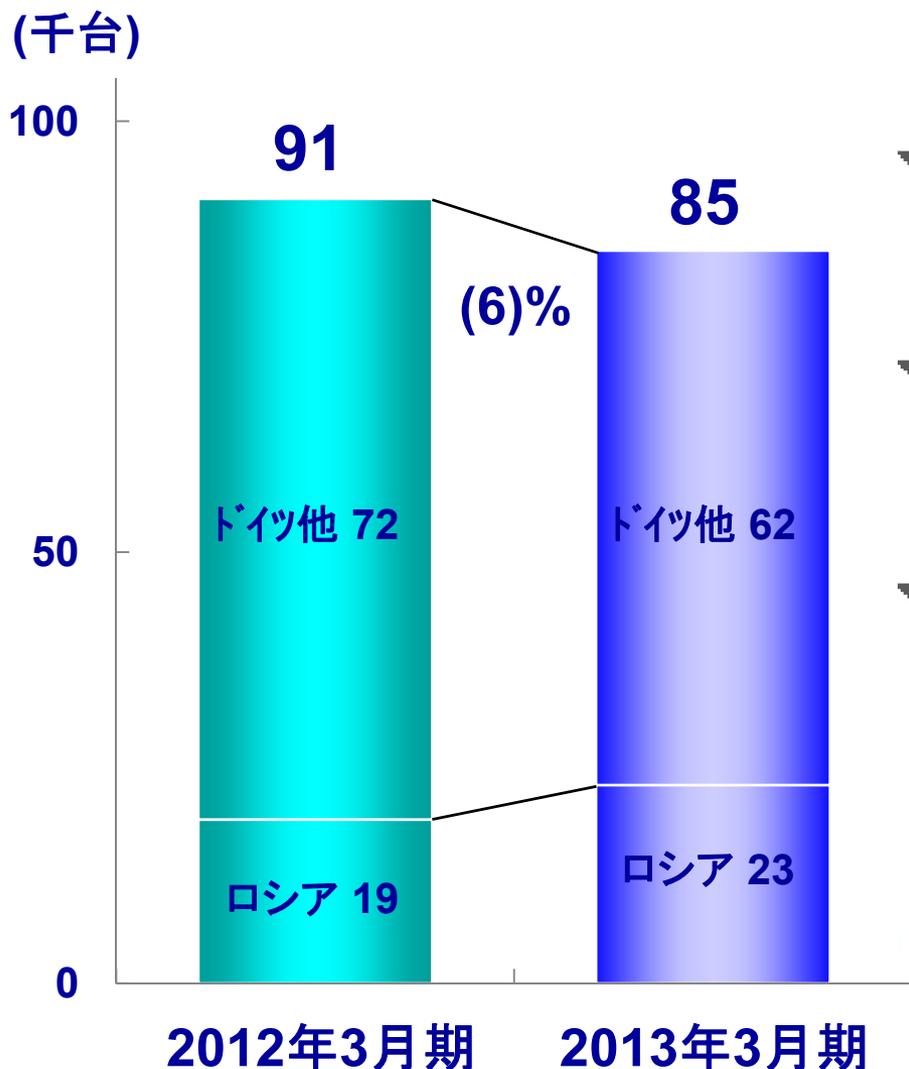
- 新型CX-5及びMazda3 SKYACTIV搭載モデルが販売増に貢献

- ブランド価値向上への取り組みを継続

➡ カナダ: 対前年4%増の4万2千台を達成

欧州

第2四半期累計 販売台数



➡ 8万5千台の販売

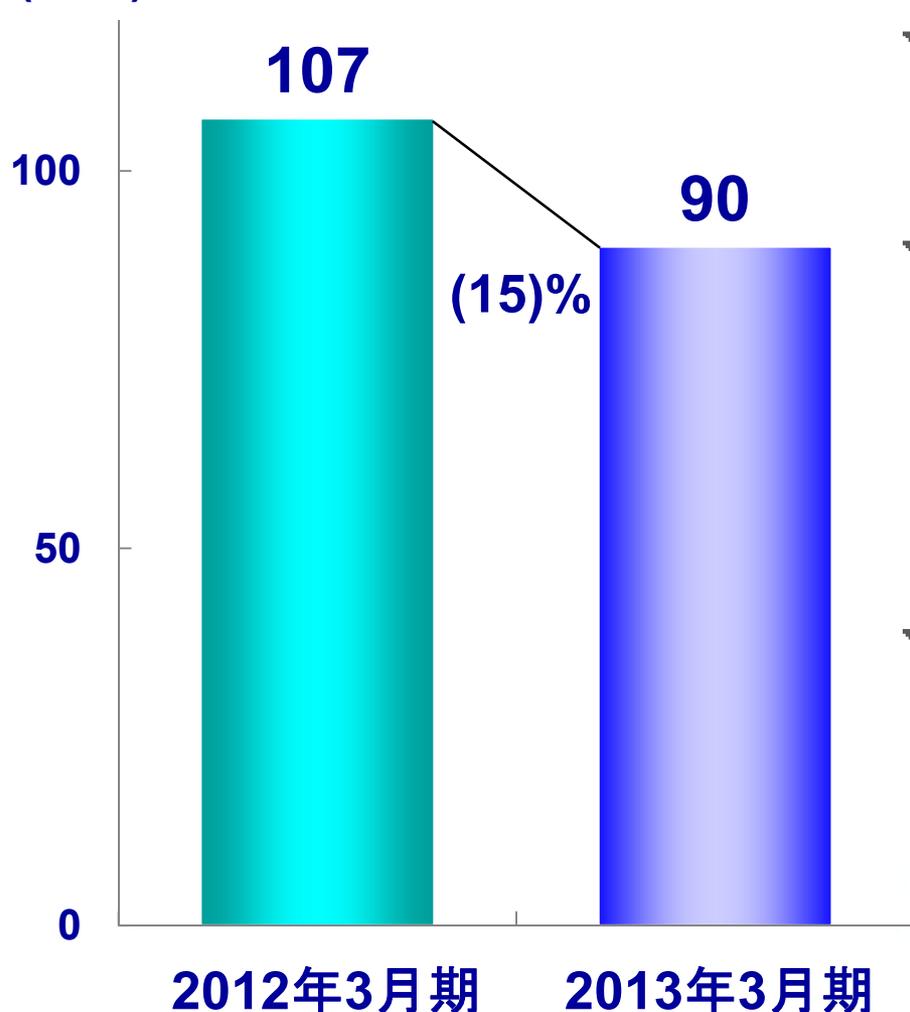
➡ 新型CX-5は販売好調を継続

➡ ロシア: 対前年20%増の2万3千台、シェアは0.1ポイントアップの1.5%を獲得

中国

第2四半期累計 販売台数

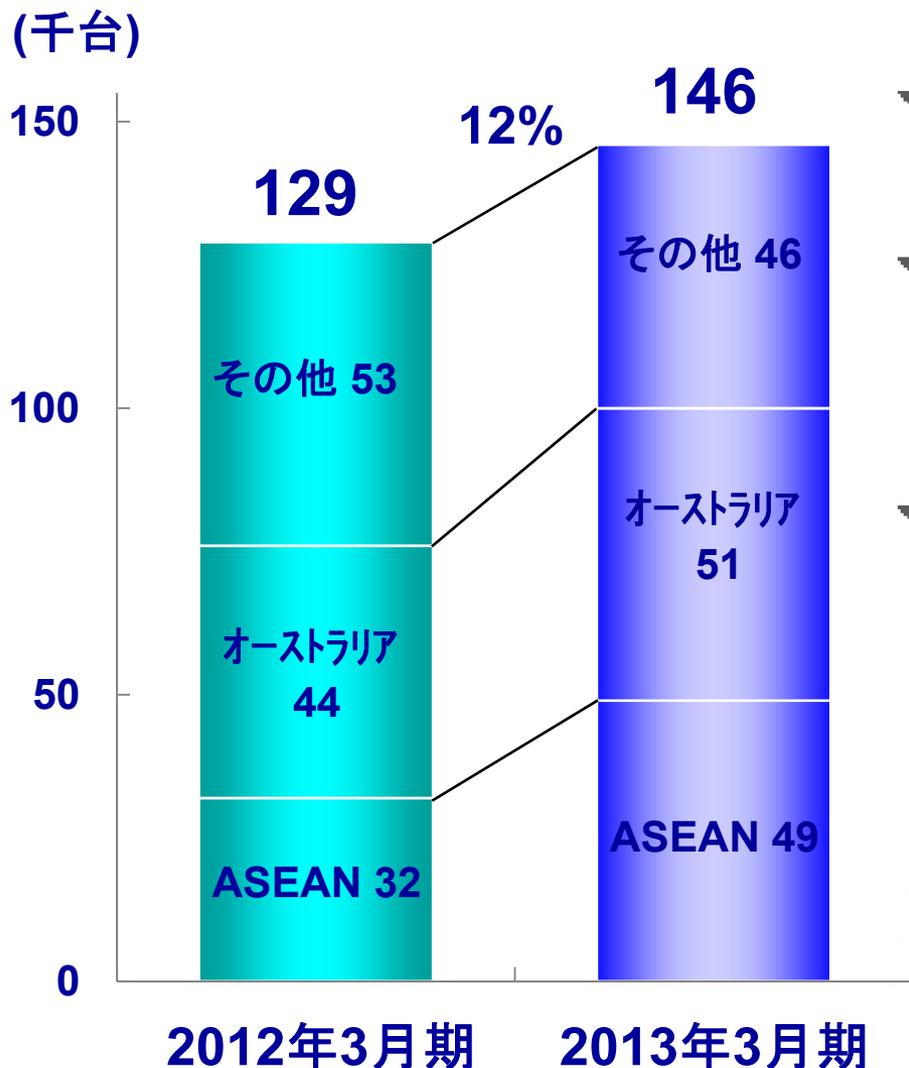
(千台)



- ➡ 対前年15%減の9万台
- ➡ 第2四半期より、中国市場初となるSKYACTIV搭載車両として、新型CX-5を導入
- ➡ Mazda3は、昨年導入した新型Mazda3の導入効果により、前年並みの販売

その他市場

第2四半期累計 販売台数



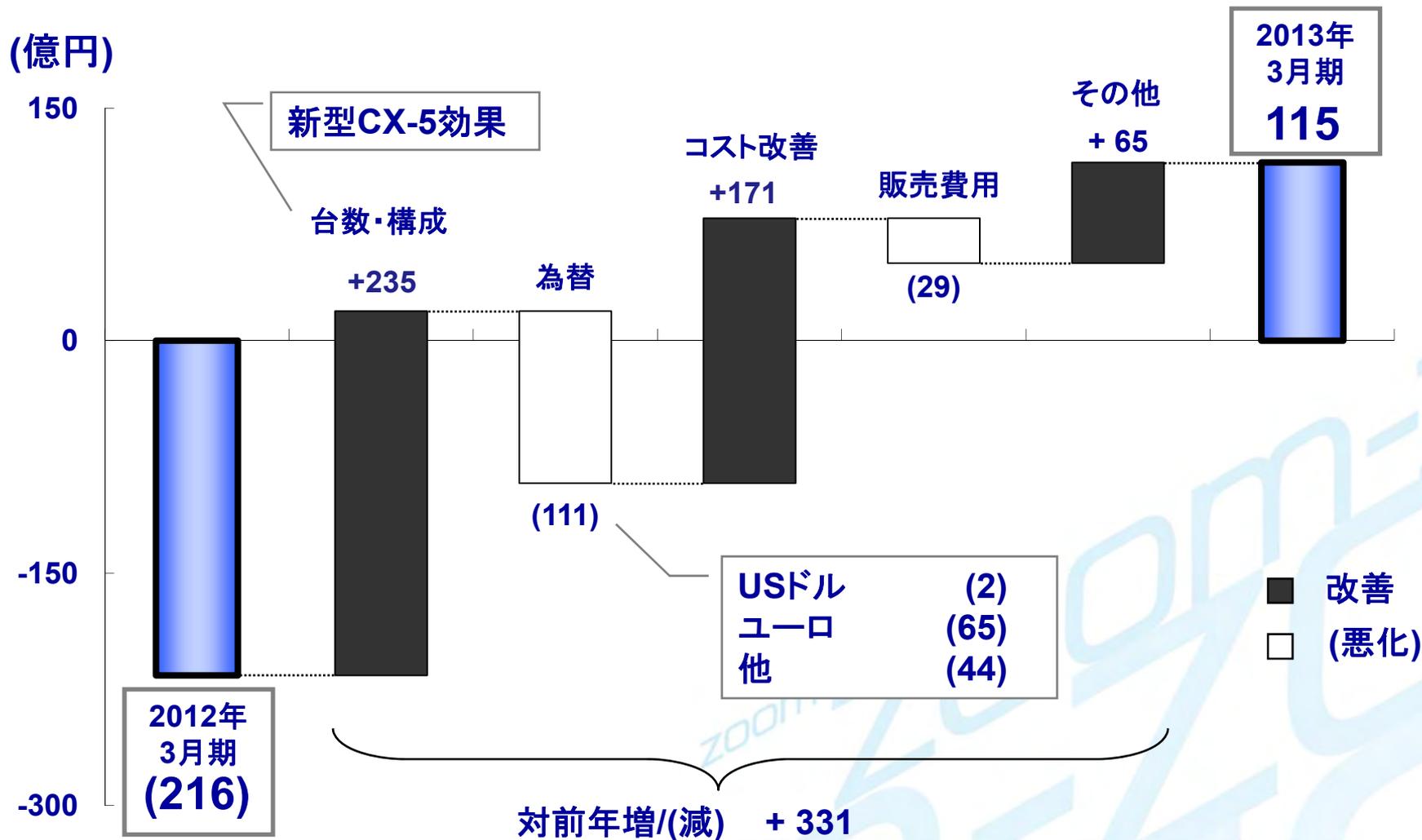
➡ 対前年12%増の14万6千台

➡ オーストラリア: 過去最高の販売台数及びシェアを獲得

➡ ASEAN: 対前年54%増の4万9千台。
タイ、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数及びシェアを獲得

営業利益変動

2013年3月期 第2四半期累計 対前年比較





2013年3月期 見通し

2013年3月期 財務指標

(億円)	2013年3月期			通期 増/(減)	
	上期	下期	通期	対前年	対4月公表
売上高	10,235	11,465	21,700	1,369	(300)
営業利益	115	135	250	637	(50)
経常利益	4	146	150	518	0
税引前利益	73	97	170	723	0
当期純利益	57	43	100	1,177	0
売上高営業利益率	1.1 %	1.2 %	1.2 %	3.1 pts	(0.2) pts

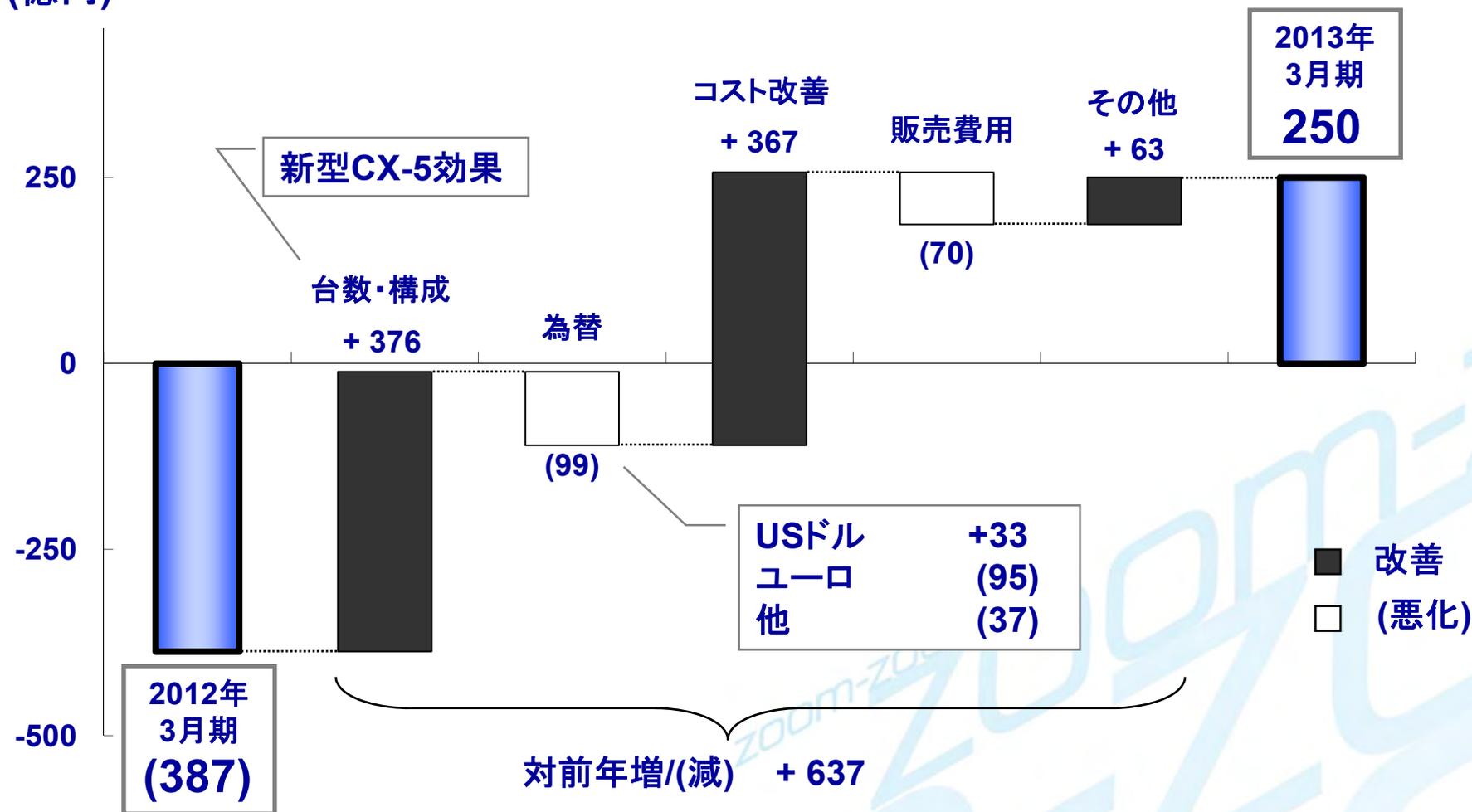
主要データ

	2013年3月期			通期 増/(減)	
	上期	下期	通期	対前年	対4月公表
グローバル販売台数 (千台)					
日本	110	104	214	8	(11)
北米	182	201	383	11	(7)
内 米国	127	153	280	12	(5)
欧州	85	97	182	(1)	(3)
中国	90	80	170	(53)	(85)
その他市場	146	160	306	43	21
合計	<u>613</u>	<u>642</u>	<u>1,255</u>	<u>8</u>	<u>(85)</u>
為替レート					
US\$ / 円	79	80	80	1	0
€ / 円	101	100	100	(9)	(5)

営業利益変動

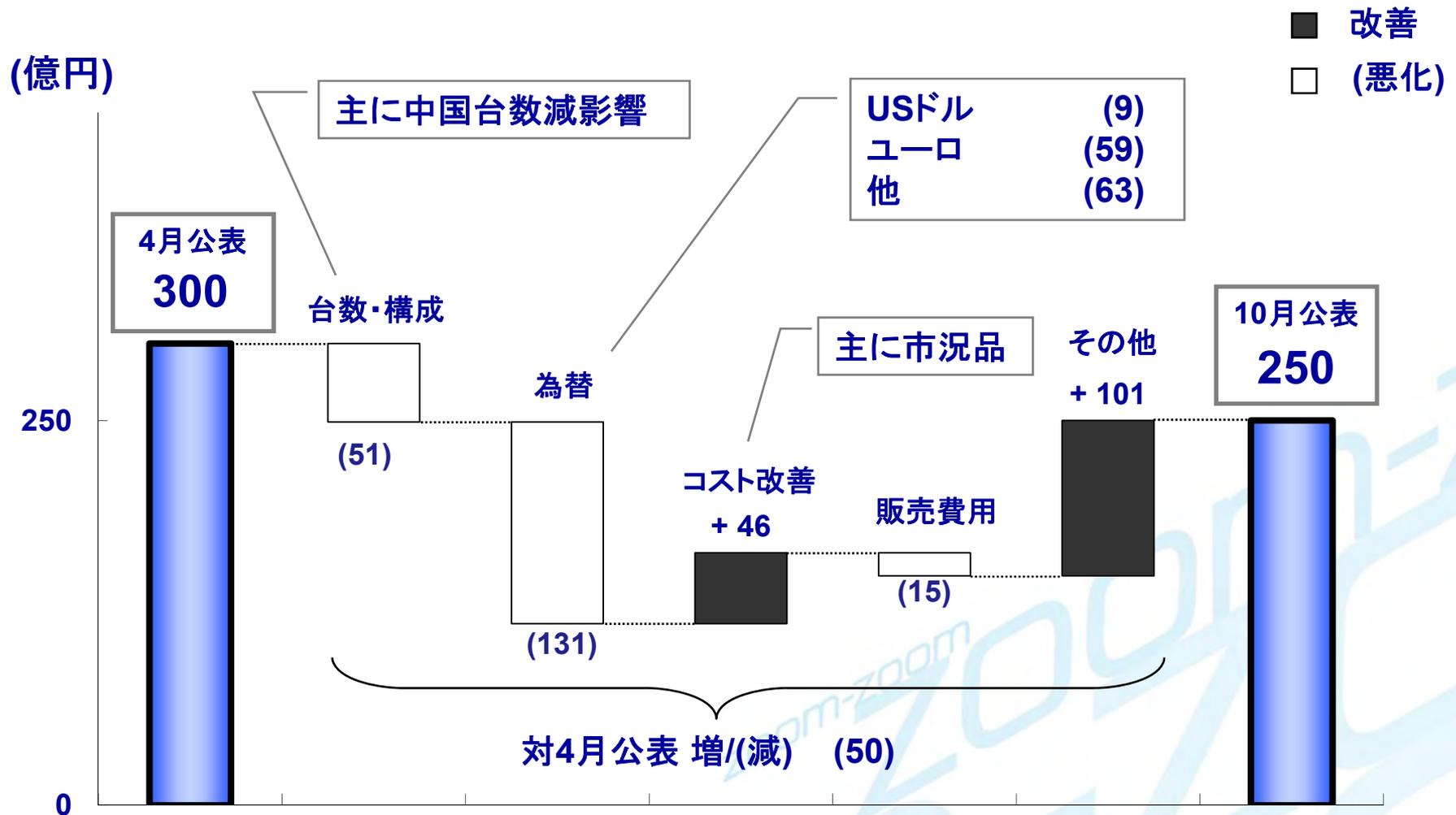
2013年3月期 通期 対前年比較

(億円)



営業利益変動

2013年3月期 通期 対4月公表比較



下期の販売取り組み (1)

▶ 日本

- 新型アテンザの導入成功
- 新型CX-5の販売モメンタムの維持

▶ 北米

- 新型CX-5の2.5Lモデル追加、新型CX-9の導入
- 新型Mazda6の導入成功
- ブランド価値向上を継続・強化

▶ 欧州

- 新型CX-5の販売拡大
- ロシアでの販売強化
- 新型Mazda6の導入成功

下期の販売取り組み (2)

▶ 中国

- 新型CX-9新規導入の成功
- Mazda3、Mazda6を中心とした販促活動の強化

▶ その他市場

- オーストラリア: 販売No.1モデルのMazda3に加え、新型CX-9、新型Mazda6の導入による、販売拡大
- ASEAN: 地域ではタイ、インドネシア他、車種ではMazda2、新型BT-50などの販売強化策を実施

構造改革プラン アップデート (1)

▶ SKYACTIVによるビジネス革新

- 新型CX-5は、デザイン、走行性能、燃費性能に高い評価、グローバルに大ヒット
- 高い商品力、適正価格で、インセンティブ抑制・残価改善、収益改善に貢献
- 生産能力増強、商品追加（北米2.5Lモデル導入）による更なる拡販
- フルSKYACTIV第二弾の新型Mazda6/アテンザを年内に販売開始、グローバルに展開。
デザイン、走り、燃費に加え、安全性能も充実
- 5年間で8車種のSKYACTIV搭載モデルを投入
（新型CX-5、Mazda6含む）

構造改革プラン アップデート (2)

▶ モノ造り革新による更なるコスト改善

- 新型CX-5から始まる新世代商品でのコスト改善は計画通りに進展
- 商品力改善と合わせ、円高下でも利益の出る車造りは着実に前進

▶ 新興国事業の強化とグローバル生産体制の再構築

- メキシコ工場の建設は順調
- ロシアでの合弁生産を開始(2012年10月)
- AATでの生産能力増強実施(2012年5月)、乗用車を含めた更なる能力増強を検討中
- マレーシアでの現地生産拡大検討中

構造改革プラン アップデート (3)

▶ グローバルアライアンスの推進

- “商品/技術/地域ごとに最適な補完を行う提携戦略”を堅持
- フィアット社へのロードスターベースのOEM供給協議中
- 中国での再編成は国家発展改革委員会の承認受領、最終段階
- ロシアでソラーズ社と生産協力JV設立
- マレーシアでベルマツ社と生産・販売協力JV設立

中国の状況

➡ 販売状況

- 販売店は、10月以降通常通りの営業
- ディーラーの集客・受注の回復はスロー

➡ 生産状況

- 南京工場は、10月後半より昼勤1直化

➡ 今期の影響及び今後の取り組み

- 今期に関しては、販売リスク及び財務影響については、織り込み済
- CFMAの再編計画は、早期の分割、新会社の設立を目指す
- 中国市場は、引き続き重要な市場であり、今後もパートナーと共に、生産・販売に注力

まとめ

<第2四半期累計実績>

- ▶ 期初見通しを上回り、全ての利益レベルで黒字を達成
- ▶ SKYACTIV搭載車両は、グローバルで高い評価
- ▶ 新型CX-5は、販売・利益面で大きな貢献

<通期見通し>

- ▶ 通期営業利益見通しは、250億円
- ▶ 経常利益以下は、期初見通し通り
- ▶ 新型Mazda6/アテンザ導入成功に向けての活動を強化
- ▶ 新型CX-5の2.5Lモデル追加、新型CX-9の導入など、新車導入プランも順調
- ▶ 構造改革プランの進捗は計画通り

最後に

- ▶ 上期は期初見通しを上回る全利益レベル黒字、通期黒字化へ確かな前進
- ▶ 黒字化にフルSKYACTIV搭載車第一弾の新型CX-5が大きく貢献
- ▶ フルSKYACTIV第二弾の新型Mazda6/アテンザを、年内に国内他へ導入、順次グローバルに展開
- ▶ 将来に向けた「構造改革プラン」の進捗は計画通り



mazda





添付

営業外損益、特別損益等内訳

(億円)

2013年3月期
第2四半期累計

営業利益	115
営業外損益	(111)
経常利益	4
特別損益	69
税引前利益	73
法人税等	(16)
当期純利益	57

主な内訳

為替差損益(含む外貨建債権の評価損)	(76)
持分利益	21
金利収支	(58)

主な内訳

関係会社株式売却益	96
-----------	----

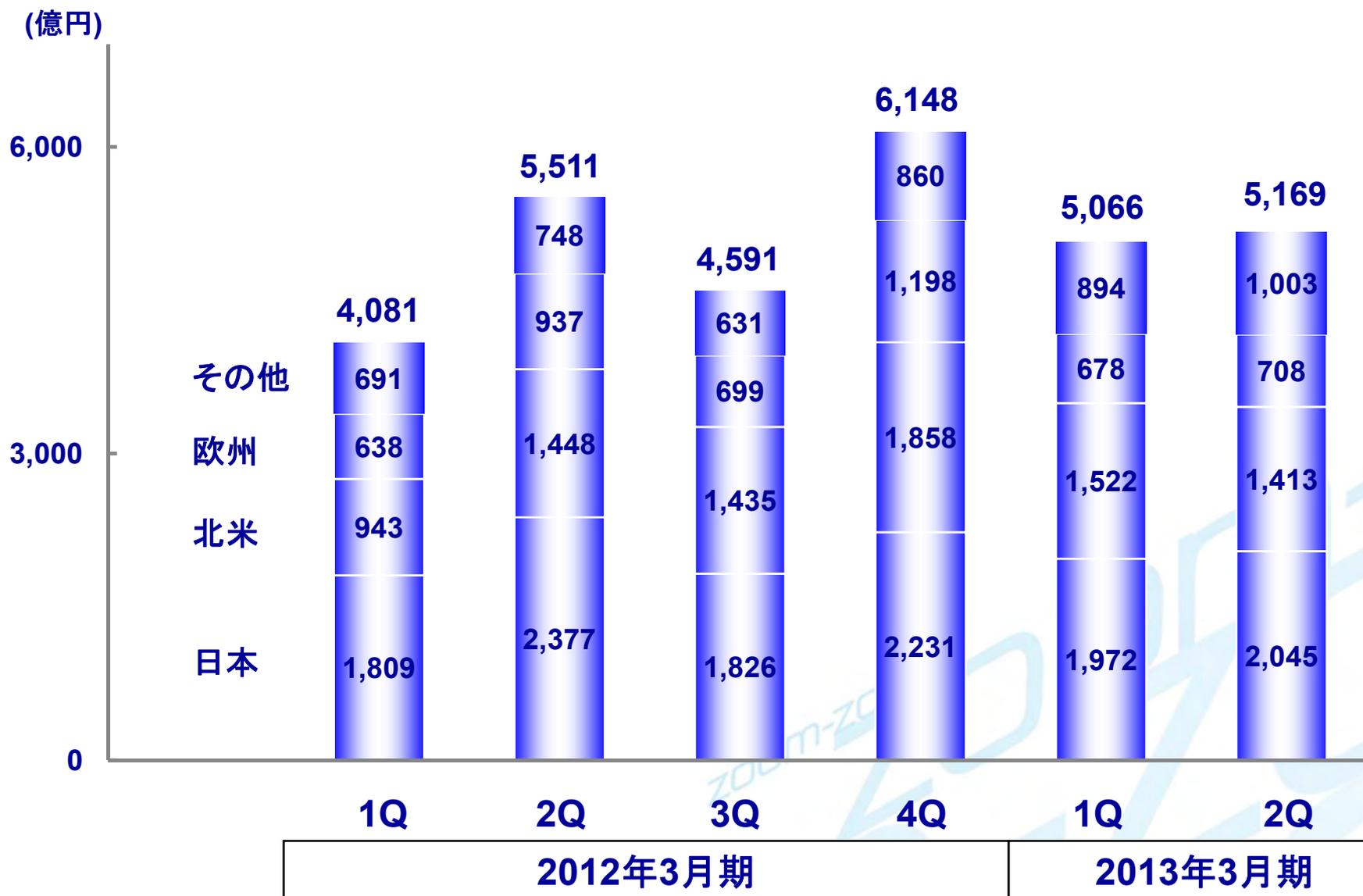
ZOOM-ZOOM

キャッシュフロー及び純有利子負債

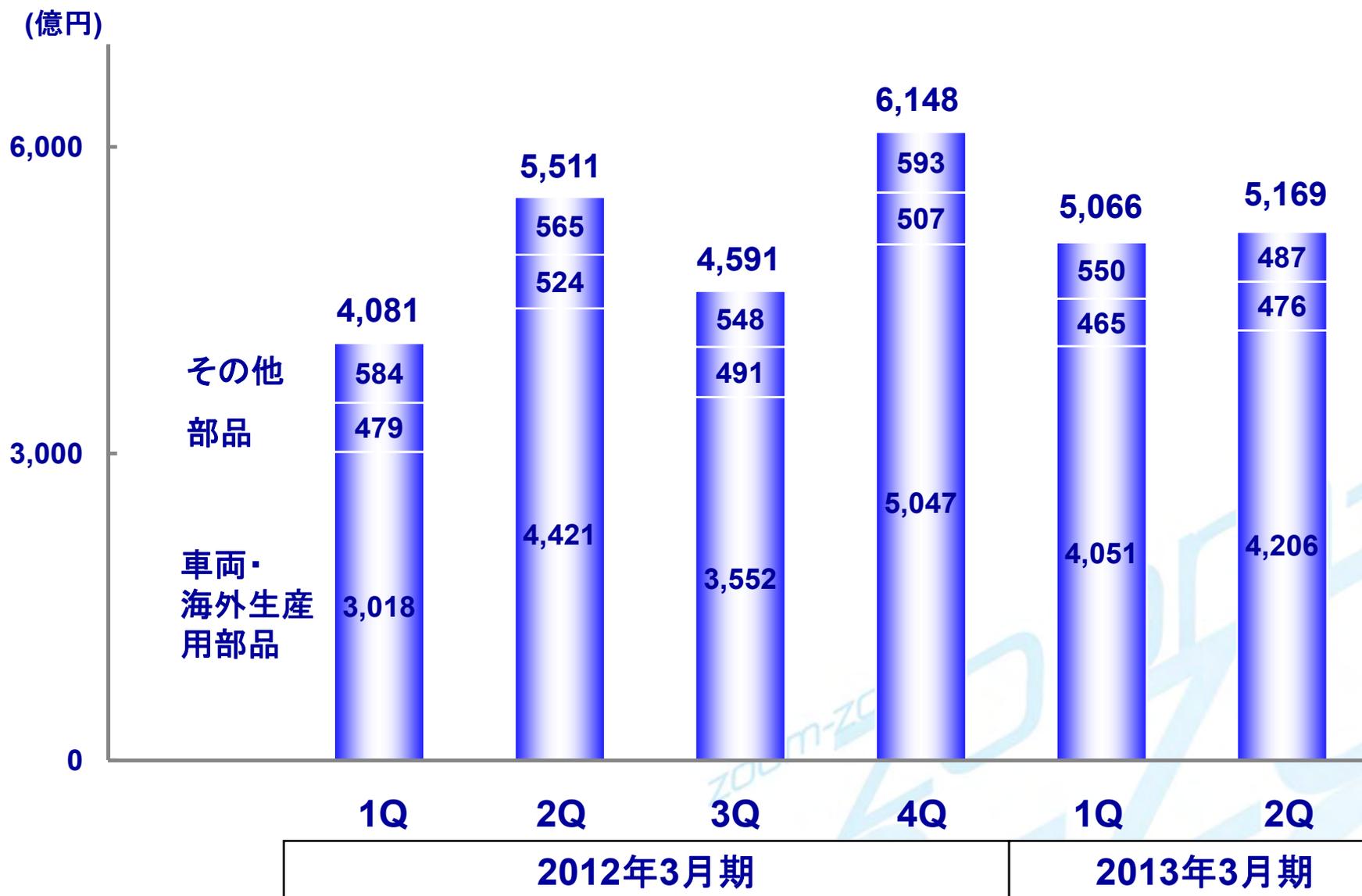
(億円)	2013年3月期			対前期末 改善/(悪化)
	第1四半期	第2四半期	累計	
キャッシュフロー				
- 営業	(143)	26	(117)	-
- 投資	(60)	(19)	(79)	-
- フリーC/F	(203)	7	(196)	-
現金及び現金同等物	4,394	4,204	4,204	(569)
純有利子負債	3,265	3,243	3,243	(235)
純有利子負債 自己資本比率	69 / 58* %	68 / 56* %	68 / 56* %	(4) / (3)* pts
自己資本比率	25 / 27* %	26 / 28* %	26 / 28* %	2 / 2* pts

* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

売上高 所在地別



売上高 製品別

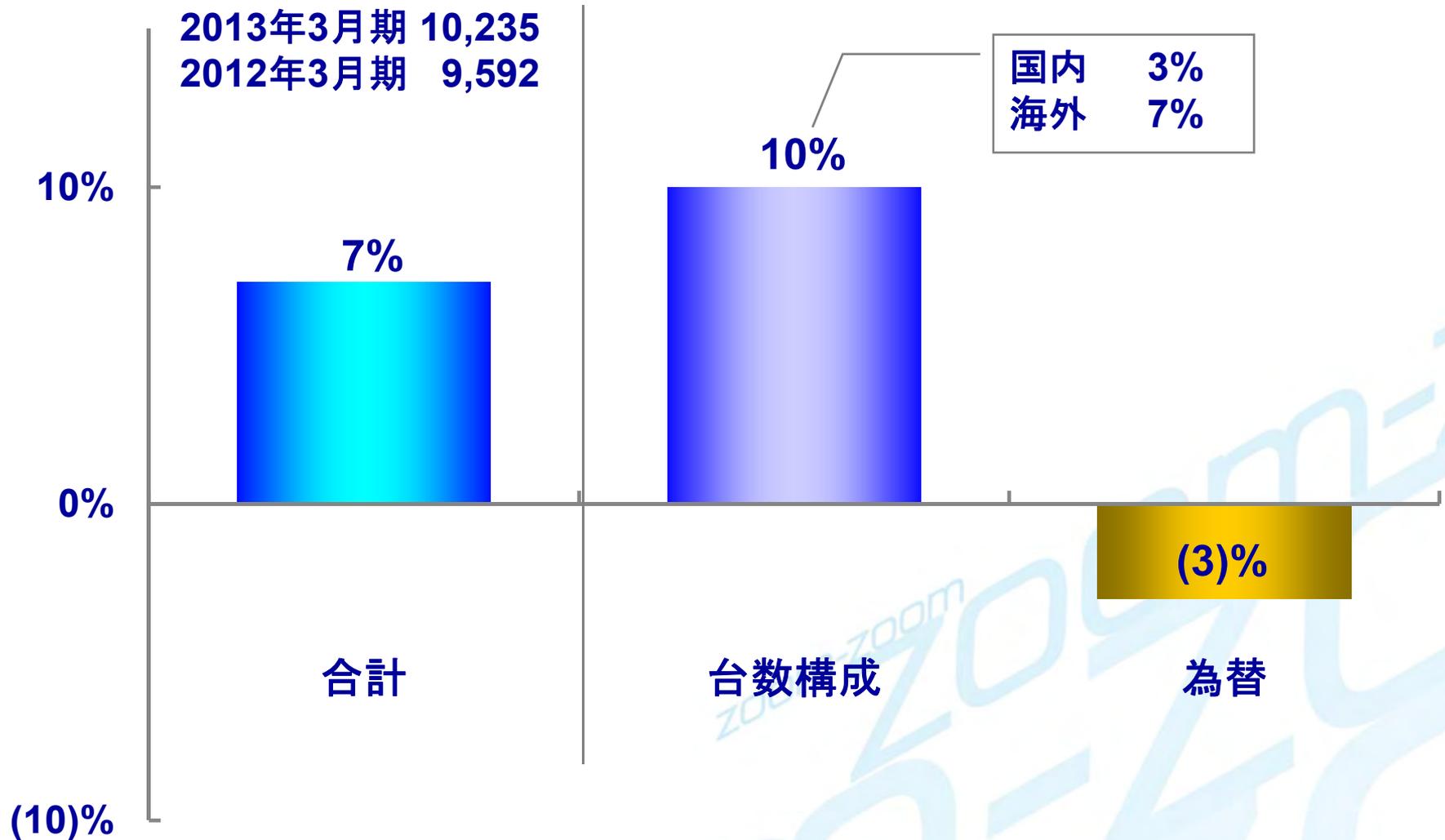


売上高変動内訳

2013年3月期 第2四半期累計 対前年比較

(億円)

2013年3月期 10,235
2012年3月期 9,592

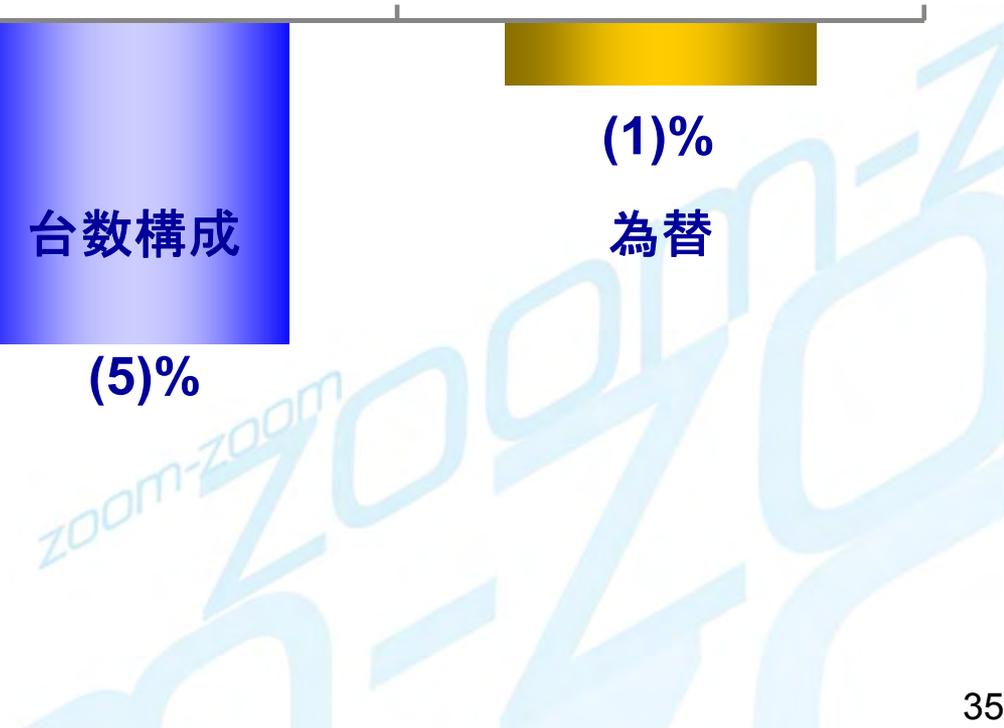
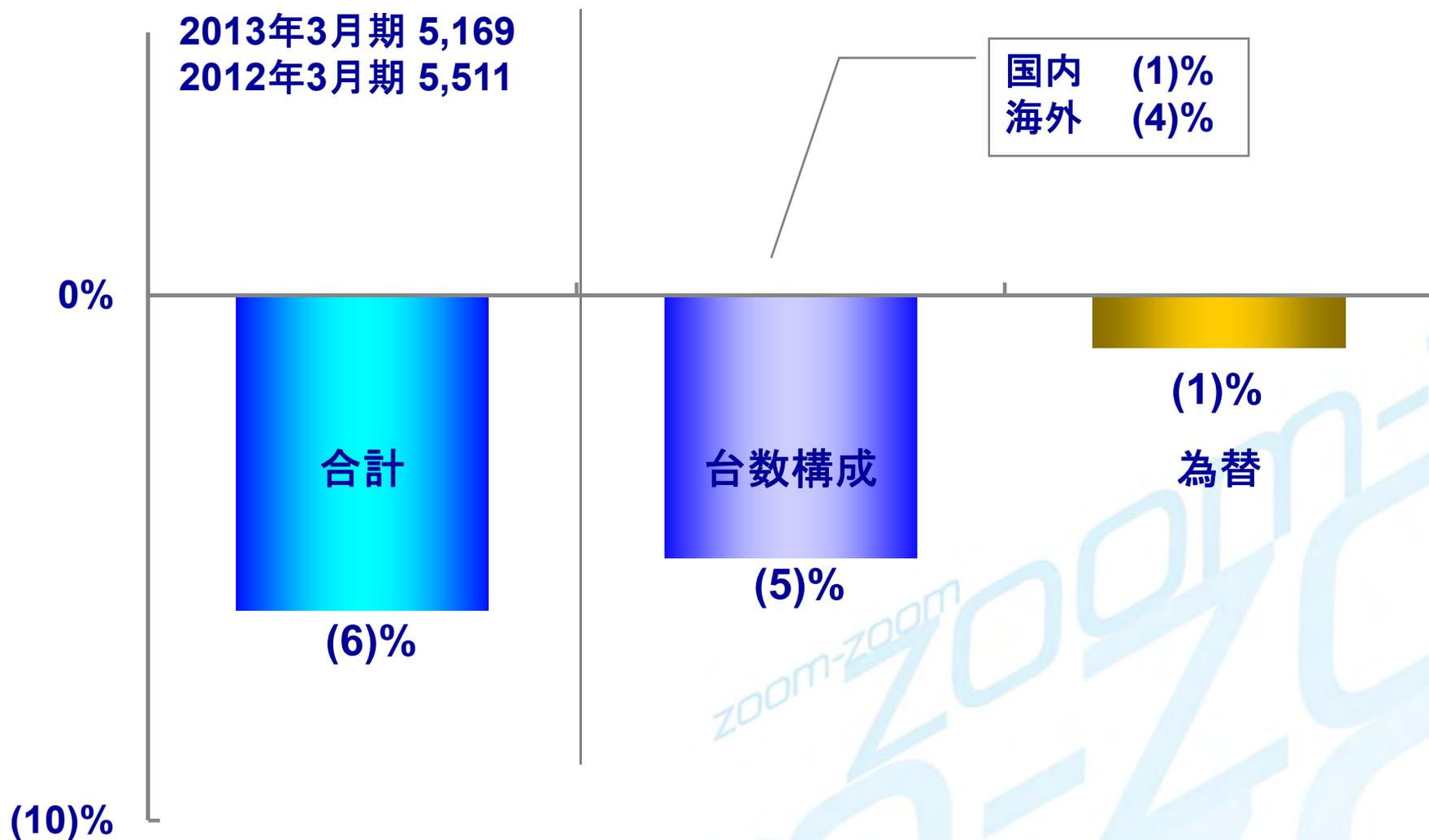


売上高変動内訳

2013年3月期 第2四半期 対前年比較

(億円)

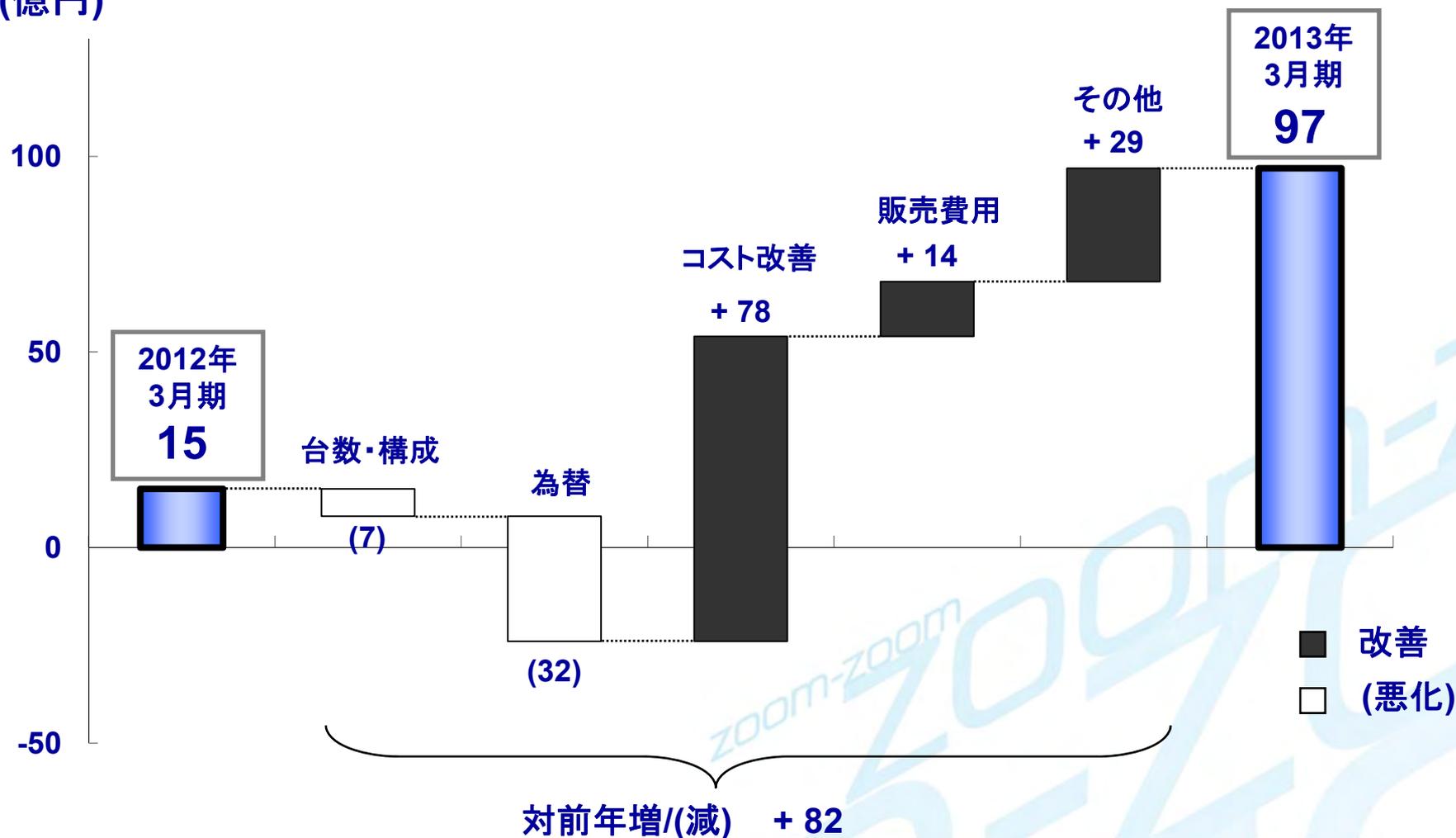
2013年3月期 5,169
2012年3月期 5,511



営業利益変動

2013年3月期 第2四半期 対前年比較

(億円)



主要データ

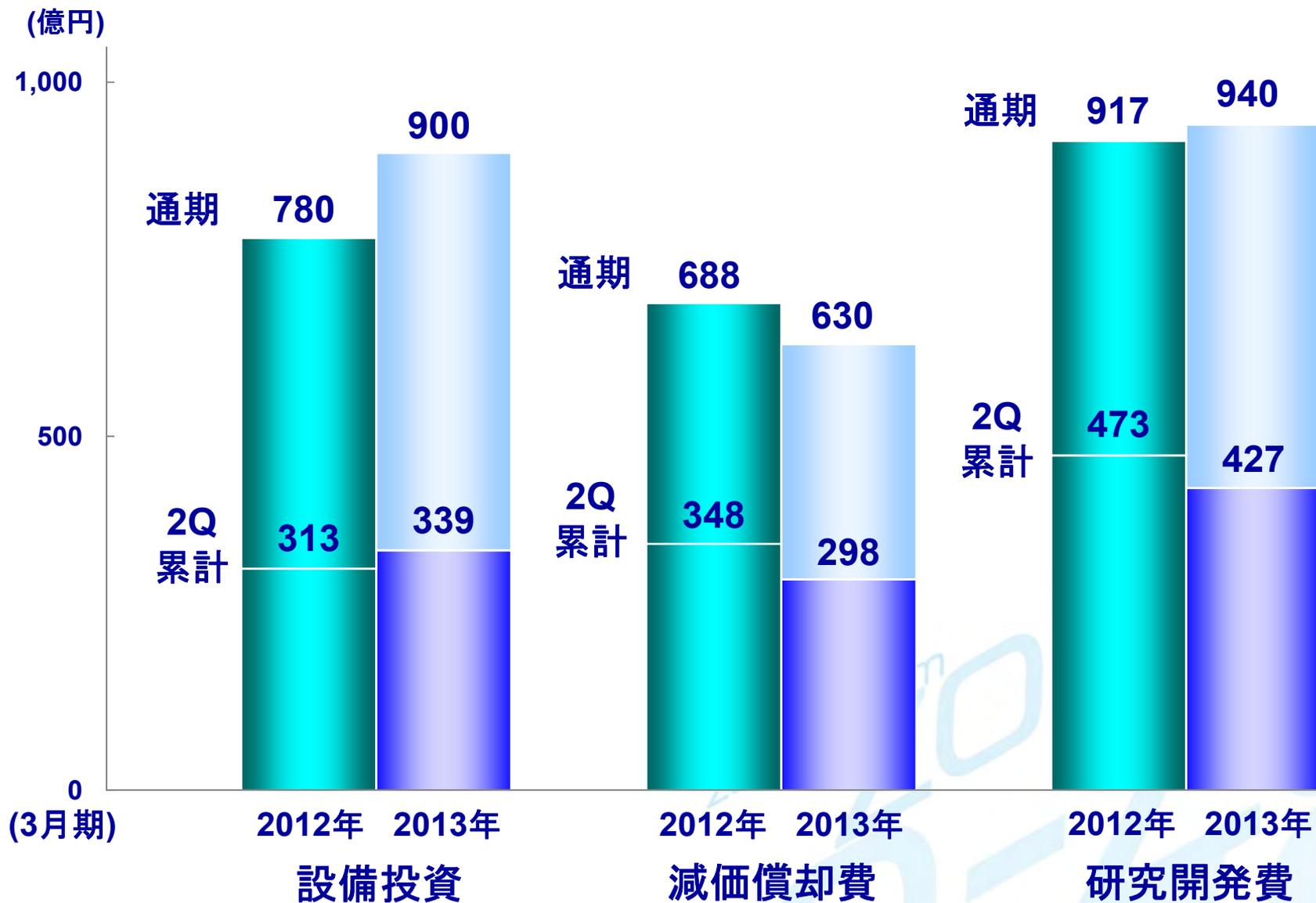
	2013年3月期			第2四半期累計 増/(減)	
	第1四半期	第2四半期	累計	対前年	対4月公表
連結出荷台数 (千台)					
日本	54	61	115	6	(8)
北米	89	86	175	23	(1)
欧州	32	36	68	(6)	(4)
中国	2	0	2	(6)	(5)
その他市場	70	72	142	15	3
合計	<u>247</u>	<u>255</u>	<u>502</u>	<u>32</u>	<u>(15)</u>

ZOOM-ZOOM

主要データ

	2013年3月期			対前年 増/(減)			対4月公表
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増/(減)
グローバル販売台数 (千台)							
日本	110	104	214	15	(7)	8	(11)
北米	182	201	383	0	11	11	(7)
欧州	85	97	182	(6)	5	(1)	(3)
中国	90	80	170	(17)	(36)	(53)	(85)
その他市場	146	160	306	17	26	43	21
合計	613	642	1,255	9	(1)	8	(85)
連結出荷台数 (千台)							
日本	115	112	227	6	(5)	1	(10)
北米	175	201	376	23	(9)	14	(16)
欧州	68	102	170	(6)	5	(1)	(1)
中国	2	2	4	(6)	0	(6)	(14)
その他市場	142	156	298	15	36	51	26
合計	502	573	1,075	32	27	59	(15)
為替レート							
US\$ / 円	79	80	80	(1)	2	1	0
€ / 円	101	100	100	(13)	(4)	(9)	(5)

主要データ



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。